

# マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会

TEL:097-545-6594

FAX:097-554-4049

第129号

## 令和3年10月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和3年10月分の交付金概算払単価が公表されましたので、概算払いを行います。

また、10月分の公表された交付金単価は交雑種については、13,215.0円・乳用種については、17,778.0円の交付となります。肉専用種の発動はありませんでした。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和3年10月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

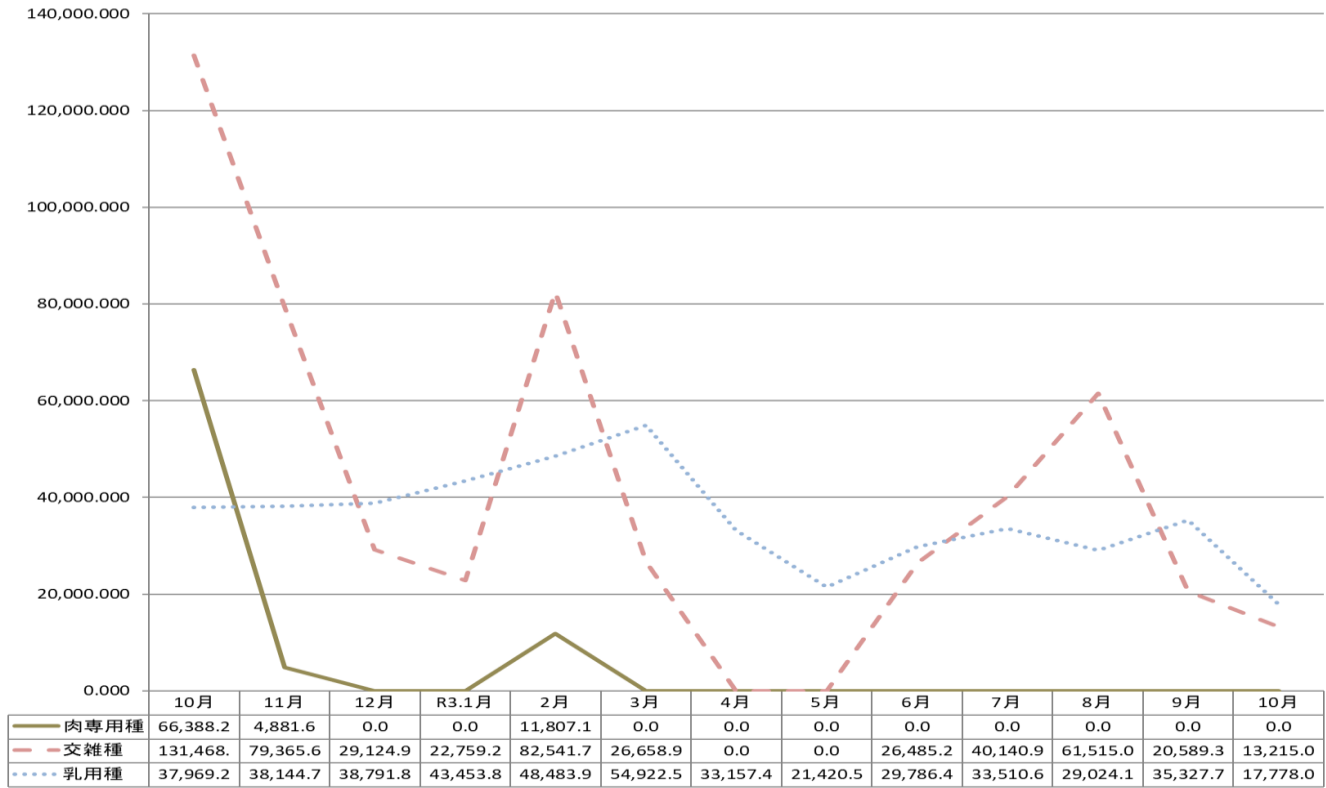
### トピックス

●令和3年10月分の単価(概算払)が公表されました。

●10月分の交付金交付は、12月24日(金)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



## 牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 [https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin\\_00002.html](https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html)

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

## ★畜産物の市況展望【牛肉】

### ～外食堅調も量販店は苦戦、牛は前年並みか～

11月の牛枝肉価格は、飲食店等の時短営業が全面解除となったことからロイン系がようやく動き始め上方修正された。肉食需要は消費者の生活防衛意識が高まりから伸び悩んだ。12月も鶏肉豚肉が主力アイテムとなり、牛肉はXmasと年末の際に限定され、苦戦を強いられるかもしれない。

10月の牛枝肉価格は、和牛は去勢A5が前月比35円高の2,718円（前年同月比53円高）、同A4は25円高の2,339円（同25円高）、同A3は75円高の2,143円（同14円安）。都内などでは時短営業や種類提供の制限が続いたことから「蓋を開けてみれば発注が大きく好転した実感はなかった」（問屋筋）。

交雑牛はB4が10円安の1,709円（同123円高）、B3が51円安の1,464円（同29円高）、同B2は72円安の1,266円（同7円安）と前月に引き続き下落した。

10月は感染再拡大の警戒感から週末などに限定された人出だったが、11月からは平日も飲食店の利用者が増え、紅葉シーズンで各地に多くの観光客が戻った。とはいえ長引く休業の結果、人材不足が飲食店の課題で、コロナ前の営業時間に戻せないケース、席数を減らし営業している店がほとんど。接待や忘年会を見合わせる企業も多く、発注量がかつての水準に戻すことは難しそう。一方で、肉食需要は生活必需品の値上げが相次いだことで消費者の生活防衛意識が高まり高単価商材が鈍化。量販店は苦戦している。

供給面は海上輸送のひっ迫による肉牛生産への影響が顕在化、粗飼料価格の高騰や稲ワラの供給不足が出荷者を悩ませている。生産コスト上昇を枝肉価格に転嫁できるか不安視する声は多い。12月高値基調を辿るが、GOTOが年明けに持ち越され前年水準には届かないとの見方。輸出向けの需要が強まれば上昇か。

和牛去A5で2,850円、A4で2,600～2,650円、A3で2,350円。交雑種はB4等級が1,800～1,850円、去勢B3で1,500～1,550円。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌12月号 抜粋）